鎌倉朝日新聞社
広告をお待ちしています
地域の活性化のためにも
TEL 0467(24)8553
FAX 0467(23)1205

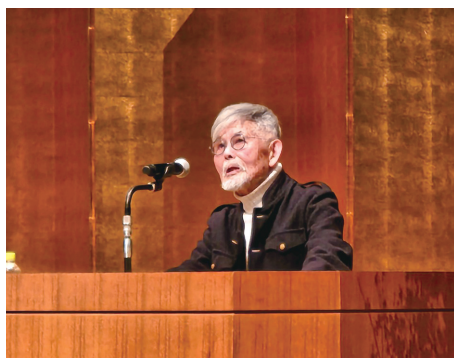
お掃除サービス・家事お手伝いサービスなら
ダスキンメリーメイド鎌倉店
☆エアコンクリーニングなどのプロのおそうじ
ダスキンオークラサービスマスター
0120-3-82820
●ダスキンオークラトータルグリーン(造園と庭木の管理)も好評受付中です!!
ダスキンオークラ 検索
www.duskin-city.com

お香 香炉 香道具 匂い袋 高級線香 他
鎌倉に蘇える伝統の香り
香司 鬼頭天薫堂 鎌倉
鎌倉市雪の下1-7-5 小町通り八幡宮寄り
TEL.0467-22-1081(代)
http://www.tenkundo.co.jp/

高橋睦郎さんに市民栄誉賞

文化勲章受章記念講演会に500人

今年度文化勲章を受章した逗子市在住の詩人で、俳句、短歌、オペラや能など幅広い分野で長年活躍してきた高橋睦郎さん(87)の功績を称え、同市は2月2日に文化勲章受章記念講演会と市民栄誉賞の贈呈式を逗子文化プラザホールで行い、市民ら約500人が参加した。



高橋さんは、母への慕情と少年期の陰影を詠った詩を朗読したあと、「逗子に住んで～こしかたゆくすえ」と題した講演を行った=写真。北九州市門司での孤児同然だった幼年期の思い出や、学生時代の詩との出会い、上京後の谷川俊太郎や澁澤龍彦、三島由紀夫らの文化人との交流も披露。

高橋さんは「多くの出会いに恵まれたのは一つひとつの出会いを大切にしてきたおかげ」と振り返り、逗子に移り住むまでのエピソードや地元での生活、交流なども語った。

「私にとって逗子はかけがえのない場所。人生は出会うもので決まる。出会う対象を虚心に受け入れることが大切」。そして最後に出会いの原点である母への思いをこめ自作の「泳ぐ母」を再び朗読。質疑応答もユーモアを交えたなごやかな時間となった。

そのあと、桐ケ谷覚逗子市長から市民栄誉賞が贈られた。同市の市民栄誉賞はサッカー日本代表監督を務めた岡田武史さん以来2人目となる。(K)

地元で仲間とつながろう パートナーシップミーティングin逗子

地域に暮らす人々が抱えている困りごとやアイデア、スキルなどを持ち寄り、それぞれの目標、夢を実現するための「つながりの場」をつくる「パートナーシップミーティングin逗子」が2月1日逗子文化プラザホールで行われ、約70人が集まった=写真下。

「まずは地元(じもと)から」と題された県主催の事業は、逗子文化プラザ市民交流センターとの協働で3回目。

基調講演で「いなかパイプ」の佐々倉玲於代表が、自然豊かな高知県四万十町の農山漁村の地域事業者と都会のニーズを結び、雇用の拡大や課題解決をめざす活動を紹介した。

事例発表は、不登校支援やフードパントリーなどにも取り組む「CoCoLo の会」と三浦市で古くから農園を営む「スズカク農園」のユニークなコラボ企画で、昨年度は累計約4500本もの規格外大根の売り上げを地域に還元。当たり前の「もったいない」を活かす独自の取り組みが発表された。

2つ目の事例は、「逗子竹活」の内山学代表が、市内の竹林で間伐した竹で竹細工やメンマを作りながら、竹林を保全し、防災、教育分野への貢献を行っていることを話した。

後半は班に分かれて各自の活動紹介や抱える課題を協力しあえる相手を見つけるマッチングタイムを行い、交流の輪を広げた。

当日の成果は県のNPO協働推進部ともアンケートで共有され、今後の地域活動の拡大に活かされる。(K)

県内初 「リバーサル商品」開発 逗子商工会で発表会

地域の事業者の支援を行う逗子市商工会は1月27日「リバーサル商品&新商品合同プレス発表会&展示会」を同会館で行った=写真。

アフターコロナを見据えた販路の拡大や新規顧客の獲得を目的とした商品開発に挑んだ市内7事業者が参加。これまでに埋もれてしまった既存商品やサービスを見直し、新しい視点を加えた「反転・逆転・復活」を意味する「リバーサル商品」を中心に発表が行われた。

▼「魚平商店」は「アジフライサンド」を紹介。毎週金土曜、限定発売する。▼「S and Raw café」は全国発送が可能なビン入りスイーツ新商品を考案。▼「さとゆり本舗」の佐藤由里さんは利尻昆布や鰹節などで「八宝出汁」を発表。▼「クルクルシナモン」はシナモンの量を2・5倍にした「プレミアムシナモンロール」をアピール。▼「Z's Community project」の村上理恵代表は「濃蜜酒粕ケーキ」を5月25日に再発売する。▼「SiCi」は、ラムネとボーロを缶入りにした「パクパクばっくんフェイズフリー」を新発売。▼今回唯一の男性登壇者・逗子地域資源利活用」の内山学代表は「逗子の竹活メンマ」を市の名物にと予約を開始する。

各事業者のブースでは活発な交流も行われ、女性の活躍が目覚ましい同商工会の魅力が発揮される華やかな発表の場となった。(K)

子ども食堂に毎月ピザ50枚 イタリアンのシェフ 久野さん

毎月第2土曜日に子ども食堂にピザ50枚を届けるようになって早や1年。「地域密着型の継続してやり続けられることをしたかった」と話すのは、七里ヶ浜のイタリアンレストラン「カーサパラディーゾスルマーレ」のシェフで経営者の久野貴之さん(51)=写真。

鎌倉のためにできることはないかと考え、少子化の問題も危惧していたので「ふらっとカフェ鎌倉」主宰の渡邉公子さんに相談したところ、ピザの要望が多いことを聞き、業者とタイアップして冷凍ピザを仕入れて届けることになった。ふらっとカフェ鎌倉ではこれを一人親家庭や生活困窮の家庭に戸別配布している。

久野さんはほかにも能登災害ボランティアとして炊き出しの支援にいったり、鎌倉インテルのスポンサーになったりしている。18歳から2年ほど和食を手掛けたあと、20歳からイタリアンの料理人になり、15年前に独立して築地に店を出した。現在、4店舗をもつ。東京生まれ、東京育ちで、鎌倉在住9年目。

「ピザの提供も継続していくことが大切と思う」と意欲を示していた。

スケッチ日和 ㉔

鎌倉山1丁目辺りでスケッチしたのは2年前。

「春景鎌倉山」 黒川 明

3月末のことだったと思う。桜がバス通りだけでなく、あちこちに咲いていた。道路のわきの草むらにイーゼルを立て、向かいの丘を描くことに決めた。目の前には春景色が「しっかりかけよ」と、展開していた。そのスケッチを引っ張り出してみたがどうもつまらない。描き上げた時は満足していたはずだが。新たに描くことにした。

紙にも筆にも絵具にも「春を呼んでくれ」と祈りながら。水彩　36×51㎝

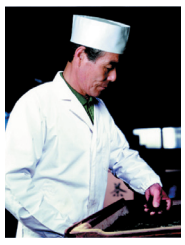
がんこ職人おすすめのお茶

本場静岡の深むし茶を直送

「おいしくなければご返品を」と自信作

お茶の本場、静岡県藤枝市で創業230年の歴史を誇る『真茶園』は、お茶の鑑定技術を競う全国大会で優勝経験のある八代目当主が茶葉を厳選し、がんこ職人が手作りで製茶しています。

今回はコクと旨みが自慢の『深むしトロリ出るお茶』(100g 1080円)と、最上級の味わい『深むしまろり茶』(50g 810円)のこだわりの二品に、送料330円(ポスト投函便)を加え、通常2220円を今回、特別価格1380円(税・送料込)でお味見できます。(初めての人限定)



商品到着まで約12日。お支払いは商品到着後同封の振替用紙(アプリ決済可・コンビニ)

今回は80セットで売り切れとなりますので予めご了承ください。お申し込みは、今すぐ電話、FAX、ハガキで。

0120・64・5959(無休・8～20時)
FAX 0120・80・7189(24時間受付)
〒426―0023 静岡県藤枝市茶町1の10の29「真茶園ト係」

車売るなら自動車税の課税前に！

査定だけでも今のうちに

「4月1日時点の車の使用者に、次年度の自動車税が課税されるのはご存知でしょうか?」売却を検討しているなら、この3月中がベストタイミングです。

地域密着の買取専門店「ハッピーカーズ鎌倉店」なら、査定から手続きまでスムーズに対応します。鎌倉市とその周辺地域で実績豊富な同店。

坂野代表がご自宅まで無料で伺う出張査定は、お客様に寄り添った丁寧な対応と、「無理な営業は一切しない」という安心感が、多くの方に喜ばれています。

「古い車」「傷が多い車」「走行距離が多い車」。他社で査定額がつかなかった車でも、最低2万円以上(1600cc以下は5千円以上)での買取をお約束します。

査定金額にご納得いただけなければ、お断りいただけます。もちろん契約後の減額はなし。その場で現金払い、名義変更完了後には通知書もお届けします。すべてのお取引が、最後まで安心してお任せいただける仕組みです。名義変更の手続きに等に時間がかかるため、早めの依頼がおすすめ。

「迷っているけど、売却するかもしれない」という方も、まずは査定だけでもご相談ください。「愛車を高く売りたい」「信頼できるお店を選びたい」。そんな思いをお持ちの方は、ぜひ一度、ハッピーカーズ鎌倉店にご相談を。あなたの車にふさわしい査定額を、心を込めてご提示いたします。

「鎌倉朝日を見たとお伝えください」

ハッピーカーズ 鎌倉店
☎0467・81・4641
HP: hc-kamakura.jp
9時～18時・定休日なし

終の棲み家を考える ㉚

家は人情の塊

生活に必要な物は安いに越した事はありません。特に同じ商品ならなおさらです。ガソリン1ℓを1円でも安い店を探しに家の近くのGSではなく隣の町のGSまで行った話など聞くと、考えさせられます。自分の子どもや、祖父母などが近所のGSの前で転んで怪我などした時、その店の人が助けてくれるでしょう。その時この家の車の燃料はうちでは入れていないことなど考えずに救護してくれます。日本人の精神文化です。

20年以上前になりますが冷害でコメ不足になりました。町内の米屋さんでお得意さんに「心配しないで、あるだけはお売りしますよ」と言った店と、在庫を奥に隠し売り惜しんだ店に、コメの流通が戻ってから大きな違いが出ました。

建築工事に関しては相見積もりを否定しませんが、見積金額の安い業者ばかりを選択してきて困っている方をよく見ます。

建築工事は品物＋工事費＋誠意＋為です。「為」とはその家そのものの為や、そこに住む人達の為を言うのです。それには長い付き合いが必要で、出入りの意識が必ず必要です。

相見積もりで安い金額提示の業者ばかりと付き合っていると、誠意と為の無い家になってしまい、気が付くと訪問販売の悪徳と言われる業者しか家に出入りしなくなるかもしれません。

■日向建設　鎌倉市大船1―15―3
☎0467・47・5454　http://www.hyuuga.co.jp